

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-4
文化財の保存・継承と活用

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

文化財課長 萩 雅人

電話番号

0852-22-6468

事務事業の名称	古墳の丘古曾志公園事業	
目的	(1) 対象	県民及び県外からの来訪者
	(2) 意図	古墳などの史跡にふれあう憩いの場所を提供する。
事業概要	古代の文化遺産の保存と活用を図り、県民の古代文化についての理解と認識を深める。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位				
1	指標名	事故発生件数	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0	件			
	式・定義	事故発生件数	取組目標値									
				実績値	0.0	0.0	0.0		達成率	-	-	-
2	指標名		目標値									
	式・定義		取組目標値									
				実績値					達成率	-	-	-

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	6,141	6,142
うち一般財源 (千円)	6,110	6,123

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・コスト削減のため、教育機能を持った公園としての位置付けを平成19年度から変更して一般の公園として開放している。
- ・指定管理者の努力により園内は良好な状態に保たれているが、建築物・構造物・備品共に老朽化が進行している。
- ・H29、6月に「島根県立古曾志公園運営（利用促進）委員会」を開催し、地元自治会と意見交換を行った際、「安全な利用ができるよう、適宜修繕を行って欲しい」等の意見があった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・日常の適切な維持管理業務、大型音楽イベントに向けた環境整備等により、安全に公園を利用できる環境が保たれており、公園内での事故は発生していない。
- ・地域団体や周辺施設と連携して「秋の健康ウォーキング」や「古曾志公園春まつり」等の自主事業や周辺自治会、小・中学校への広報活動により、利用促進を図っている。
- ・維持保全計画に基づき、野外ステージや野外展示広場の修繕を実施し、安全に利用できる環境整備に努めた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・建築物や構造物の発錆劣化や機器の故障等、全般的に老朽化が進行

②困っている状況が発生している「原因」

- ・開園後25余年を経過
- ・経費的な問題で抜本的な修繕が困難

③原因を解消するための「課題」

- ・定期的な園内の見回りや施設の保守点検
- ・老朽化した個別施設・機器ごとに、費用対効果をふまえて今後の対応を検討

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・利用者の安全確保を最優先とし、施設の適切な維持管理に努める。
- ・費用対効果や長寿命化の観点から、良好な利用環境確保のため、設備の修繕に努め、事故を誘発するおそれのある設備、不要な投資を招く可能性のある設備の撤去についても検討する。
- ・地元公民館や埋蔵文化財調査センター等の協力を得て、各種イベントの開催や学校等への広報活動をさらに積極的に行い、利用促進を図る。